

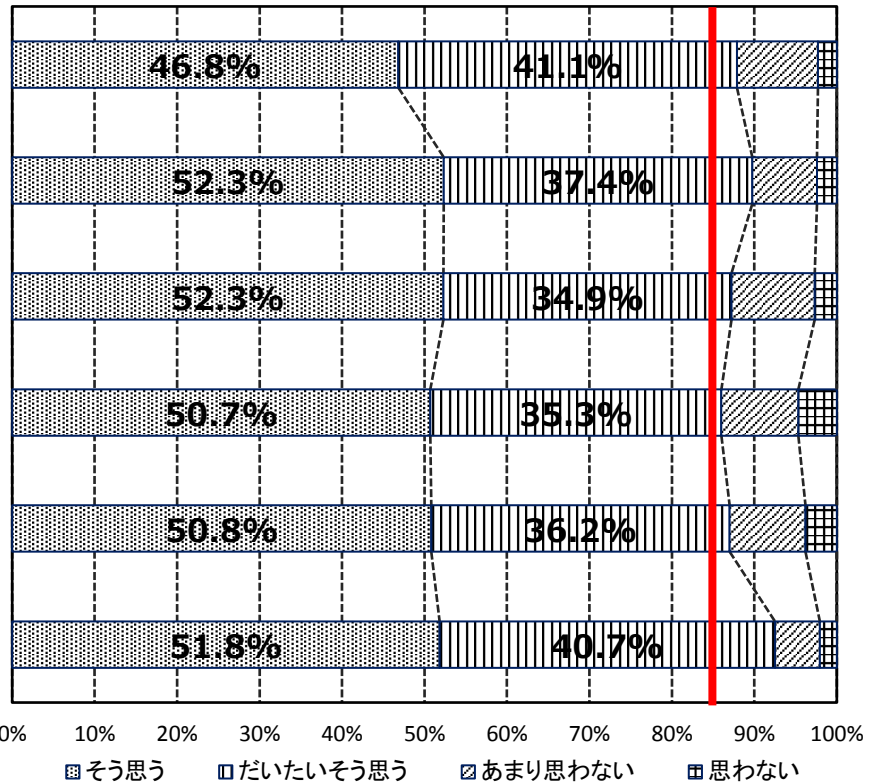
授業アンケートの結果

1学期に実施しました『授業アンケート』の集計と分析についてご報告いたします。保護者の皆様にはご多用の中、ご回答いただきましてありがとうございました。

1. アンケート回答率 : 87.9%

2. 評価対象教員数 : 20名

1. お子さまは授業を受けて、その内容に興味や関心や意欲をもつようになっていますか
【興味・関心・意欲の向上】
2. お子さまは、授業の内容が分かるようになっていますか
【学習内容の習得】
3. お子さまは、授業で分からないときやもっと知りたいとき、そのことについて教えてもらえていますか
【個の状況に応じた支援】
4. お子さまは、授業は質問や発表などがしやすい雰囲気だと感じていますか
【望ましい学習集団の育成】
5. お子さまは、授業で頑張ったことを認めてもらえたと思っていますか
【児童生徒への適切な評価】
6. お子さまは、「学習のきまり」をしっかり守るように指導されていると思っていますか
【学習規律の定着】



結果の分析

【成果】 ◇ すべての項目において、肯定的評価（「そう思う」「 definitely そう思う」）をあわせた評価が85%を超える結果となりました。本校教職員が今年度当初より力を入れて取組みを進めている「6. 学習規律の定着」が92.5%と一番高い肯定的評価をいただきました。このことは、「落ち着き」という子どもの普段の様子にも表れており、子どもたちもとても頑張っているところだと感じています。次に肯定的評価が高かったのが、「2. 学習内容の習得」でした。これは、6月23日に配付しました校長室通信にも書かせていただいたように、子どもたちが、『わかる』『できる』を実感できる授業をめざし、教員は「教材研究」を深め、授業計画をしっかりと立て、指導技術を磨き、新しい学習指導要領の大きなテーマでもある「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、『Hirakata授業スタンダード』に基づいた授業を進めている成果であると考えています。

【課題】 ◆ 「4. 望ましい学習集団の育成」の肯定的評価が一番低く（86%）、「思わない」の割合も一番高く（4.7%）なっています。今年度も昨年度と同様の結果となってしまったことは、早急に対策を講じていく必要があると考えます。これまでも取り組んできてはいるのですが、子どもたち一人一人の「自己肯定感・自己有用感（自分自身に自信をもてる気持ちや周りから必要とされているという満足感）」をさらに育むとともに、質問や意見の発表がしやすい『授業の雰囲気づくり』をこれまで以上に進めていくことにすべての教員が努めてまいります。

☆ 本校教員は、子どもたちの「確かな学力」の定着と、よりよい授業に向けて、学年会での教材・指導法の研究や外部講師を招いての研究授業、管理職による授業観察指導等、『授業改善（じゆぎょうかへぜん）』に全力で取り組んで参ります。保護者の皆様には日頃からお子様へ「家庭学習（宿題等）」をするよう働きかけていただきまして感謝申し上げます。今後ご支援のほどどうぞよろしくお願い申し上げます。☆